

第1回 新石垣空港駐車場管理・運営方針に関する懇話会 議事録

日時：平成23年7月27日(水)14:00～16:00

場所：八重山合同庁舎2階会議室

1. 開会

●事務局

定刻の時間となりましたので、新石垣空港駐車場の管理・運営方針に係る懇話会について、進めて行きたいと思っております。私は会の進行を努めさせていただきます新石垣空港建設事務所建設班長の玉城と申します。よろしくお願いいたします。

まず、配布資料の確認をしたいと思っております。資料1から6まで6つの配付資料がありますが、不足はないでしょうか、ご確認下さい。よろしいでしょうか。

それでは、会次第に沿って進めて行きたいと思っております。開会を新石垣空港課課長の喜屋武からお願い致します。

■委員

本日は、お忙しいなか、懇話会にご出席いただきありがとうございます。

新石垣空港の整備につきましては、平成17年12月に航空局の設置許可を受け、平成18年12月に工事に着手し、昨年12月には空港の整備に必要な用地をすべて取得しております。工事についても、平成25年3月7日の供用開始に向け、おかげさまで順調に整備が進捗している状況であります。

新空港の供用開始まであと約1年7ヶ月となっております。駐車場の管理・運営の方針を決定していかなければいけない時期となっております。

本日は、新空港供用開始後の駐車場の管理・運営が適切に行えるよう、皆さんから色々のご意見、ご提言を頂き、より利用しやすい新空港にしていきたいと考えております。

それでは、これから懇話会を開会いたしますので、時間の許す限り、ご意見、ご提言をよろしくお願いいたします。

2. 委員紹介

●事務局

それでは、次に懇話会の委員を紹介をしたいと思います。石垣市副市長の漢那政弘様。石垣商工会会長の宮城隆様。石垣市観光協会会長の宮平康弘様。八重山身体障害者福祉協会会長の比嘉玉子様。石垣空港ターミナル株式会社専務の高良和夫様。八重山地区レンタカー連絡協議会会長の瀬戸守様。沖縄県ハイヤータクシー協会八重山支部支部長の平良裕助様。東運輸株式会社代表取締役の前津文一様。大阪航空局石垣空港出張所所長の上里朝昭様。八重山警察署交通課課長の赤嶺勇様。石垣市建設部部長の生巢武様。石垣市企画部部長の吉村乗勝様の代理としまして、南風野哲彦様。竹富町企画財政課課長の勝連松一様。与那国町総務財政課課長の譜久嶺弘幸様。沖縄県土木建築部空港課課長の照屋朝和様。沖縄県土木建築部新石垣空港課課長の喜屋武忠様。沖縄県土木建築部八重山事務所所長の嘉手納良文様の代理としまして、大和田豊様。沖縄県土木建築部新石垣空港建設事務所所長の久高將佑様。沖縄県総務部八重山事務所総務課課長の松田碩志様は欠席となっております。

それから、事務局として、沖縄県土木建築部新石垣空港課企画整備班、石垣市企画部企画政策課、石垣市建設部空港課石垣空港管理事務所、沖縄県土木建築部新石垣空港建設事務所です。よろしくお願いいたします。

懇話会の座長といたしましては、あらかじめ事務局のほうで石垣市副市長の漢那様をお願いしたところ、快くお引き受け頂いております。この場で委員の皆様へ承認を得たいと思っておりますが、よろしければ拍手をもって承認をお願い致します。

■各委員

異議無し。

●事務局

ありがとうございます。それでは、座長のほうからご挨拶を頂きたいと思います。よろしくをお願いします。

3. 座長挨拶

▲座長

皆さんこんにちは。ただいま座長として承認を頂きました石垣市の副市長をしております漢那政弘と申します。

懇話会の座長を引き受けることで改めて責任の重さを改めて感じております。3年ほど前に、宮古空港と現石垣空港に駐車場の課題があった。駐車場の管理・運営をしっかりとしなければならないという意見もございまして、その際に、宮古のほうに懇話会を作ってみんなの意見を聞いた上で、管理・運営を行っていくのはどうかというのがございまして、その際に現空港の石垣空港の方も同様でいきましょうということ。

今回は、新石垣空港の駐車場・管理運営について皆さんからの意見を聞き、そして、新空港が21世紀にふさわしい空港に羽ばたけるように信じて、皆さんと一生懸命頑張っていきたいと思います。その際には、石垣には石垣の地域性も歴史もありますので、地域の皆さんの意見もしっかり聞きとめて、1号機が飛べるように皆さんと一緒に頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

●事務局

漢那座長どうもありがとうございます。それでは次に議事に進ませて頂きますが、これからは座長のほうに進行を引き継ぎますので、よろしくお願い致します。

4. 議事

▲座長

進行を引き継ぎます。議事の進め方として、一端、事務局が説明を行い、質問等は最後にまとめて行うことで進めたいと思います。

では、議事の1番目の懇話会の目的及び設置要綱について、事務局のほうからお願いします。

●事務局

－（事務局説明、資料-1）－

▲座長

説明ありがとうございました。懇話会の目的、設置要綱について、質問はないでしょうか。

■各委員

異議無し。

▲座長

次に、2番目の新石垣空港駐車場計画の概要について、事務局のほうからお願いします。

●事務局

－（事務局説明、資料-2）－

■委員

予約タクシーのスペースの確保について説明して頂けますか。

●事務局

予約タクシーの方としましては、現空港の方でもそういったものが配置されておりました。新空港になった際にも、このあたりにそういったものを確保することも考えられるんじゃないかなということで以前から聞いております。

これらについても将来的に、空港が有料になるのか、無料になるのかそういったこともあるかと思うんですけども、ハイヤータクシー協会さんと調整し、どういうふうにするかというスペースを確保したらいいのかといったことを考えていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

▲座長

スペースの確保については、これから調整をしていきたいという理解でいいですか。

●事務局

そうですね。

▲座長

その他にございますか。

■委員

おそらく石垣市内から新空港まで30分かかるといことで、観光客の流れが大きくかわるのかなと思います。今現在、街から1000円くらいですので。最近のツアーの方は、圧倒的にレンタカーの方が多いですし、レンタカーの方が爆発的に増大していくのかなと思います。安く借りて、乗り捨てていくというのが大きな流れですので。

レンタカーは今後、1000台を超えると予想しています。タクシーは200台ぐらいです。レンタカーもどんどん増えていきますので、それに対する配慮がなされていないような感じですので。面積の関係はあると思うんですけども、そういう配慮をしていかないとおそらく大変な混乱を起こすのではないかと。観光客は、距離が遠くなったといことで、レンタカーに流れる可能性が高いと思います。

▲座長

委員からは、レンタカーが1000台走っていく中でも、駐車スペースあるいは、レンタカーに対応することについて、どのような配慮をしているのか。あるいは、これから協議開始になるかと思うんですけども、現在の県の考え方は。レンタカーのスペース対応についてお聞きしたい。

●事務局

先日、レンタカー協会の方からそういう話があって、先程のタクシーもそうなんですが、駐車場外の方にスペースを確保しているんですが、空間は決まっていますので、その空間の中で、何台位になるのか、あるいは集約できるのか、そういうことも含めて検討していきたいと思っています。

■委員

限られたスペースの中でということですが、駐車場を将来的に拡張するという考えはないのかどうか。

▲座長

将来的に対する台数はあっているとして、想定を越える観光客や利用者があった場合という話ですね。基本的にはですね、将来の貨物量、旅客量をはじき出して、その上で駐車場の規模を決定することになっていると思います。

■委員

そうですね、やっぱり拡張する可能性も残しておく必要があるんじゃないかと。

▲座長

一般論としまして、交通量から、国道390も2車線なんですね。駐車場もそうなんですが、交通量の問題もございまして、2車線を4車線にするとか、貨物を別ルートで考えるとか。そういうふうなことは当然、将来考えられるんですけども。

■委員

将来、増える想定だけはしておいてほしいと思います。

●事務局

基本的にはですね、今の段階では、拡張することは考えていないんですけども、その時点の状況を見て、対応していくことになるのかなと思っております。

■委員

路線バス2台という確保はされているんですが、観光バスはどこに停めるんでしょうか。

●事務局

現在、バスプールに27台分確保されておりまして、観光バスについては、バスプールに設けた乗降場を利用して頂きたいと思います。観光バスからの乗り降りについてはこちらのほうでやります。

■委員

一次的に人を降ろしたりすることもいけないということですか。

●事務局

ここ（接車フロント）については、路線バスの人の乗り降りということで考えています。

■委員

じゃあ、人の乗り入れは、バスプールに行って、こちらで降ろすということですか。

●事務局

観光バスについては、こちらのバスプールで考えております。

■委員

那覇空港あたりをちょっと見てみますと、この一般乗車の所にも観光バスの人の乗り入れのスペースがありますよね。どうしても観光客は入口に近いほうから降りたいという要望があるものですから。バスプールで降りて、入口まで歩くか疑問はあるんですが、観光バスの一時的な駐車スペースの確保は難しいということですね。

●事務局

そうですね。どれを優先するかということになるかと思うんですけども、観光バスのみなさんについては、バスガイドさんとか、そういった方々に誘導してもらうことで考えております。

■委員

じゃあこれを徹底するということで解釈してよろしいですか。

●事務局

はい。

■委員

先程、駐車場については、需要予測に基づいてやってきたということですが、従業員駐車場の台数をはじく考え方というものを教えて頂ければと思っています。

●事務局

新石垣空港の駐車場の算定にあたりましては、必要台数を一番先に求めるんですが、それは先ほどおっしゃられてたように、将来の需要の一番多い利用客数を想定して、それを元にですね、旅客に対して何台駐車場が必要かを求めています。実態調査はですね、平成12年に実施しておりまして、それに基づいて台数を算定しております。

現空港における実態調査の時に、バスとかタクシーとかも旅客に対して何台あるのかということ調査し、必要規模を算定しています。それからですね、全体数からバスとタクシーを引いて、一般用の台数が477台以上必要ということで算定しております。

その後ですね、スペースの関係上、一般用と従業員用で499台確保できたということで台数を決めております。この499台のうちの一般従業員についてですが、これも平成12年度に実態調査をしておりまして、旅客一人あたりの一般用の割合と従業員用の割合を調査致しまして、その割合に応じて、この台数になっています。

基本的には、実態調査に基づいて決定していることになっています。将来、年間260万人の一番込む時間帯の人数に調査で算定した定数をかけて、駐車台数を算定していることになっています。その結果、従業員用を99台確保している状況になっています。

■委員

路線バスを運行しておりまして、今回の新空港のターミナルに関しましては、路線バスの接車スペースを確保して頂きありがとうございます。

近況報告を申しあげますと、現在、バス停がですね、タクシー乗り場を横断して設置されていますので、利用者から、安全性、利便性の面で改善を求められておりまして、新空港では、安全性と利便性が図られているということで、大変感謝しております。

現在2台ということで、路線バス分を確保して頂いておりますけども、基本的な考え方としてですね、今現在、35台が空港に運行しておりますが、路線バスはその回数を確保したいと考えています。それに加えまして、既存のですね、空港線以外の一般路線バスだとかそういったものを新空港経由で運行しようと考えていまして、地域の皆さんの新空港に対する利便性が向上していくものと考えております。それで、バス2台分の確保というものは、どうしても必要な台数ということになっていますので。

あと一点、今後、課題として残っているものはですね、アクセス道路ができますと直行ルートって話が出てくる。シャトルバスですね。空港から離島まで直行で走らせてくれ、そういった要望等を踏まえますと、既存の路線バスとシャトルバスになります。路線の時間調整も可能ですけども、スペース的なもの、利便的なものというものがちょっとあります。

ちょっとこれは、確認なんですけども、貸切バス、バスプールに関してなんですが、これは27台確保して頂いているんですが、これはあくまでも、営業車両といった形でよろしいでしょうか。緑ナンバーの観光バスの専用駐車場として、理解してよろしいでしょうか。

●事務局

バスプールについてはですね、送迎用のマイクロバス等もあるかと思うんですけども、そういったものもバスプールを利用してもらう。

路線バスについても、2台入りきれない分は、バスプールを利用して退避するなり、ということも考えられますので、そういったスペースを有効利用しながら運用できるように考えていきたいと思っておりますので、調整等よろしくをお願いします。

■委員

はい。わかりました。ありがとうございます。

■委員

確認ですが、歩道とありますが、これは屋根が付いているという理解でよろしいでしょうか。屋根付きで。

●事務局

はい。

▲座長

次に、3番目の現空港駐車場の現状について、事務局のほうからお願いします。

●事務局

－（事務局説明、資料-3）－

▲座長

説明ありがとうございました。現空港駐車場の現状について、質問はないでしょうか。

●各委員

特に無し。

▲座長

次に、4番目の駐車場に関するアンケート調査の結果報告について、事務局のほうからお願いします。

●事務局

－（事務局説明、資料-4、資料-5）－

▲座長

説明ありがとうございました。アンケート調査の結果について、質問はないでしょうか。

●各委員

特に無し。

▲座長

次に、5番目の宮古空港の状況について、事務局のほうからお願いします。

●事務局

－（事務局説明、資料-6）－

▲座長

説明ありがとうございました。

5. 意見交換

▲座長

以上で、議事の説明がすべて終わりましたので、意見交換に移りたいと思います。

■委員

参考に教えて欲しいですが、宮古空港の場合ですね、駐車場を有料化した後、駐車場の

収入が年間いくらで、管理費がいくらか参考に教えてください。

●事務局

8月～3月までの8ヶ月間の状況ですが、月でいうと98万位プラスの状況になっております。

▲座長

宮古空港の場合、設備投資が新たにありますね。その費用も含めのことですか。

●事務局

設備投資は入っていません。有料駐車場の場合、入口に機器を設置しますが、7～8年に1回は更新しないといけませんので、そのためにも黒字をだしとかなないと、長期の収支は厳しいと考えています。

■委員

その機器というのは、リースではなくて、最初に設備投資するわけですか。

●事務局

最初の設備は県の方で整備しております。

▲座長

今の回答は、設備投資したものは、例えば8年なら8年で減価償却するわけですが、そうじゃなくて、それを除いた管理費と収入でよろしいですか。

●事務局

はい。

■委員

宮古空港の状況をお聴きしましたが、宮古空港の場合は有料の方がよいのかなと思います。ということは、タクシーにとっても、夜間駐車、1時間あたりの駐車料金を最初から有料にして頂ければよいと思います。

それからあと1点ですけども、到着口と搭乗口の両方があると思うんですけど、到着口と搭乗口の両方の位置がはっきりすればいいのかなと思うんですけど。

●事務局

前方のスクリーンをご覧頂きたいんですけど、こちらの方、旅客ターミナルビル中央入り口、こちらの方は到着した方の出入り口となっていて、こちらの方から出入りができると。また、両サイドに出入り口を設けているんですけど、これは両側に航空会社出発のカウンターがあると聞いておまして、こちらの方から入って、出発の受付をします。両サイドの方ですね。ターミナルビルの方は航空会社を分ける考えだそうです。

●委員

資料8頁なんですけど、駐車場の利用車両台数。調査の3日間で9214台となっているんですけど、次の9頁にですね上の方の駐車時間の方で5073台なんですね。このデータの扱いがずれていないかなと思うんですけども。実際、新石垣空港ができてどのくらいの車が止まるのかなという確認なんですけど。新石垣空港になった場合にどれだけの駐車台数になるかということ。

●事務局

8頁の方は空港に入った車と出た車。上のカッコ1がそうです。これは空港に入った車で。カッコ2は駐車場利用台数になっているものですから。これは駐車場に入った車と出た車と理解して頂けたらなと。

■委員

カッコ2は駐車場となっているが、表の上は空港入出車両台数となっているんですね。分かりました。駐車場の利用台数ではないということですね。

●事務局

はい。

■委員

ピーク時の説明をお願いします。

●事務局

新空港はピーク時には1200人と設定しております。また、全体の駐車場台数を算定するときに旅客一人当たり0.47台の車両が必要だよという計数を実態調査でだしております。

以上から、ピーク時の1200人に0.47を掛けて台数を算定しております。

■委員

資料2の表1新空港駐車台数586台。将来の需要に対する駐車台数ですね。ちなみに、0.47という定数は駐車場が有料ということを想定した数字ですか。

●事務局

有料ではなくて、現空港と同じ無料という前提です。

■委員

了解しました。

■委員

宮古空港の状況を見ていますとですね、有料化にしないといけないなと思うんですが、私も宮古に行くのですが、一番心配するのは外周をぐるぐる回ること。一旦、駐車場に入れてしまうと、100円取られるもんですから、外周をぐるぐる回るのは危険な状態じゃないのかなということです。新空港の外周も迎えに行く車が多くなると思いますが、後15分で到着するとなると、15分外周を回るわけですよ。それで、30分駐車をすると分けて、一旦チケットを取るかもしれませんが、1時間以内に出て行くと無料になるスペースを少し工夫をして頂ければ、外周を回ることがなくなるのではないかなと思いますので、そのへんも検討されたらどうか。1時間以上の方なら有料化すべき。この外周を回るのが防がないとなと思いました。

▲座長

今日は現状認識というか、宮古の状況、それから新石垣空港、あるいは現空港の現状の報告ということで。次の懇話会で、有料にするかどうかとか、有料にしなければならないのか、有料にするとするとうどのような検討があるかなどということになると思います。そういう意味ですね、今日提案のあった30分、もしくは1時間無料のお話ですね。そういうことに対する配慮も含めて検討をお願いしていきたいと思います。

■委員

お聴きたいんですが、与那国町から夜間に患者を緊急輸送する場合など、時間外の場合の対応はどうなるのでしょうか。

もう1点ですね、最終アンケート結果では、市内の方がほとんどになっているんですが、もしできるのであれば、飛行機を乗る側でもアンケートを実施してもらえれば、先程の緊急輸送の意見とかが出てきて、反映できたのではないかと思います。

■委員

急患対応についてはですね、海上保安庁の庁舎の横側に出入口がありまして、救急車等はこちらを通過して空港の中に入りに来ています。

▲座長

イメージとしては、ヘリコプターで来る場合、石垣市の消防もこちらで待機してはるはずなんですね。そこで病院まで搬送するようになるのかなと思います。

●事務局

先程、意見のございましたアンケートの結果なんですが、資料13頁をお願いします。市内が95%となっているんですが、アンケートは空港で実施しておりまして、その結果、竹富町、与那国町の方から回答を頂けなかった結果になっているんですが、懇話会の後に地元への説明を予定しております。竹富町、与那国町、石垣市さんですね。その時に意見があれば、意見交換できればと思います。

▲座長

そうすると、アンケート調査は実施しないんですが、町の意見はお聴きしますよということよろしいですか。

■委員

はい。

■委員

ちょっとよろしいですか。ターミナルビルの右左に自転車やバイクを駐める小さな駐車場のようなものがあるんですけど。

■委員

今、ビルの両横に駐車スペースがあります。ただ前年の駐車場の構想と関連してですね、これからテナントの募集を行いますので、これから考えていきたいと思います。

■委員

自転車とかバイクとかじゃなくて。

■委員

はい。横に駐車スペースを確保しておきまして、テナントの募集をしながら、駐車場の計画を決める予定です。この敷地は、県からビルが借りる敷地となりますので、ビルの駐車場としてですね。

▲座長

詳細はテナントと調整してからということですね。

■委員

先程からお聴きしておりますと、宮古空港の方は40%ですか。駐車しているのは。収入と支出のバランスがいいようなことなんですけども、われわれ石垣の方は宮古と比べたら断然レンタカー業者が多いんですよ。ですからもっと駐車すると思うんですよ。ですから儲かりますよね。そういうことで、われわれの希望、先ほどの資料で説明ありましたが、ほとんどが有料化に賛成だということですので、有料化の方向で一つお願いします。料金設定は別といたしまして、有料化の方向でお願いいたします。港ターミナルの方はレンタカーが溢れるぐらいに駐まって、活気づいていますので。

石垣のレンタカーは24業者ですけども、宮古は少ないのですが、夏になるとさらに3000台ぐらい出ますので、その辺も考慮して、有料化の方向で行ってもらいたいと思います。

▲座長

ありがとうございました。有料化の方向でということ。

■委員

うちもこの件に関して、会員から意見要望があり、やっぱり駐車場からターミナルビルまで無料で屋根をとということがありました。これを聞いてありがたいなと思います。

駐車場を7台用意して頂いているんですけども、今、スーパーとか現空港もそうなんですけど、一般車両が駐まっているときが多いんですよ。実際に利用しようとしたときに駐められなかったりとか、そういうのがかなりあるんですよ。なのでそういう管理をしてくれる方がいたらなという意見がありました。

あと、有料化した場合に身障者手帳所持の減免をできないかという意見もありました。

管理運営のマナーの話と、もう1点は減免ですね。宮古空港はどうしてるとか、那覇空港はどうしてるとか説明できますか。

●事務局

身障者用スペースの適正な管理の件なんですけども、基本的に管理事務所の管理になるんですけど、有料化になった場合はガードマンが常時パトロールと清掃を行う予定です。

あと、減免の件なんですけども、県管理空港の場合は減免ができると思います。現在の有料化になった駐車場はそういう規定になっています。

▲座長

駐車場の話がありましたので、交通の話を見せて頂きます。特にバスさんですね。路線の再編などを考えているのであれば、早めの調整をお願いしたいです。バス停の話とか準備ができればいいですし、観光客が沢山くるでしょうから、その時のために道路標識を変えないといけないということもごさいますので。今からだと来年の末ですから、そういうのも含めて早めに調整し、出来るものと出来ないものがあると思いますが、出来るものは調整したい。

またレンタカーの方ですが、有料化した場合にレンタカーのスペースを決める調整などありますので、レンタカーも賛成ということですが、いずれにしましても、お互いにスペースの調整をさせて頂きたいと思います。

■委員

宮古新聞を見ると渋滞していますよね。新空港の図面を見ると事故を誘発するような道

路形状のような感じもするんですが。標識とか区画線を標示することを考えているんですか。

●事務局

宮古空港の記事は有料化翌日の写真になっておりまして、若干渋滞しているという新聞記事になっているんですが、現在の状況を確認したところ、渋滞は発生していないとのことです。新石垣空港の開港当初は、慣れていないので渋滞するかもしれませんが、慣れれば、宮古と同様に渋滞は発生しないのかなと考えています。

●事務局

渋滞の件ですけども、今の車線の長さに収まるのか、短ければ標示で対応できるのか、検討していきたいと思います。

▲座長

そういうことで、供用開始時には周知をしっかりとすることで。管理についても、管理員を配置して、そういうことがないようにするというで。構造的に、入口まで短すぎたり等あれば、それは別途相談して解決して頂けたらなと思います。

それでは、これで懇話会は終了したいと思います。

5. 閉会

●事務局

そろそろ時間となりましたので、次回の開催時期ですが、9月14日の水曜日の午後2時からということでしょうか。それでは、次回は9月14日の水曜日の午後2時からということで、出席よろしくをお願いします。

これをもちまして、第1回新石垣空港駐車場の管理・運営に係る懇話会を閉会いたします。お疲れさまでした。